

NEWSLETTER FROM
TICON GROUP

FORWARD

October-December 2016 | ISSUE 12

TPARK経営陣から
新年のご挨拶

あなたの投資を防衛する
正しい選択は何か？

ロジアナ・プラチン
ブリの新工場

日本人の平均寿
命が延びた

One Belt and One Road
Policy(一帯一路構想)と
GMS(Greater Mekong
Sub-Region=大メコン経済
圏)諸国の物流協力

HAPPY
NEW YEAR

2017

NO. 1 PROVIDER OF FIRST-CLASS WAREHOUSE IN ASEAN



- International Quality
- Ready to Use
- Strategic Locations

Contact Us: **02-679-6565**



Message from the Managing Director

プミポン・アドゥンヤデート国王陛下がご崩御され、2016年はタイ国民にとって最も悲しい年になりました。TICON社員一同も深い悲しみに包まれています。国王陛下のご慈悲の心は永遠にタイ国民の心に記憶されることでしょう。

2016年は経済、特に製造分野および輸出分野が低迷し、この分野の企業は環境変化に注意を払いながらコスト削減に焦点を当て、生産拡張には慎重な姿勢をとってきました。しかし、タイは地理的にCLMV(カンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナム)諸国および中国南部を繋ぐハブに位置する有利な立場にありますので、域内の物流ハブとしてのポジションを享受することが可能です。

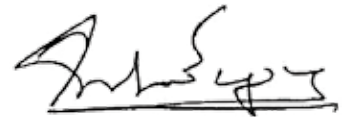
今年はTICONグループにとって大きな転機となりました。皆様ご存知の通り、TICONは国際的な不動産会社であり代表的な不動産デベロッパーであるシンガポールのFraser Center Point Limited (FCL)との提携を発表し、FCLの子会社であるFraser Property Holding (Thailand) Co., Ltd. (FPHT)に対する第三者割当増資を実施しました。出資額はTICON株の40%となる132.3億バーツです。今回の増資によってTICONはタイで最も強固な資金力を有するレンタル工場・倉庫開発会社になります。

Mr. Virapan Pulges
Managing Director
TICON Industrial Connection Public Company Limited

FCLは、様々な分野で高い専門性と経験を有する不動産開発会社(特にオーストラリアにおける不動産開発事業)のひとつであり、同社の強みがTICONグループの成長と継続性を後押ししてくれることになるでしょう。TICONは引き続き、お客様のニーズに応えるための洗練された解決策を保持しながら好立地にある高品質物件の開発に注力して参ります。これによって、お客様は当社のプロが提供する迅速且つ効率的なサービスを楽しむことができます。また、FCLの世界中に広がるネットワークは、TICONのASEAN域内での事業拡大を迅速に推進する力になります。

この機会に、お客様、取引先会社、投資家、株主、TICON社員、TICONグループを支援されているすべての方々に感謝の意を表するとともに、新年のお祝いを申し上げたいと存じます。2017年が皆様にとって公私に亘って大きな成功の年になることをお祈りいたします。そして、来年もまた、引き続きTICONをご支援いただきますようお願い申し上げます。

よいお年をお迎えください。



ISSUE 12 October-September 2016

CONTENTS

FACTORY SPOTLIGHT

ロジャナ・プラチンプリの
新工場 8

HAPPY
NEW YEAR
2017

WAREHOUSE SPOTLIGHT

TPARK経営陣から新
年のご挨拶 10

COFFEE TIME WITH GURUS 4

One Belt and One Road Policy(一帯一路構
想)とGMS(Greater Mekong Sub-Region=
大メコン経済圏)諸国の物流協力

JAPAN CORNER 6

日本人の平均寿命が延びた

INVESTOR FOCUS 12

あなたの投資を防御する正しい選択は何か?

EVENTS NEWS 13

PROPERTY HIGHLIGHT 14

NEW TENANTS 15

OPERATION CAFE 16

リーン生産方式導
入による物流コスト低減戦略

SPECIAL COLUMN 18

ホンダ・ロジスティクス・アジア株式会社

TAKE A BREAK 19

Wat Yai Chai Mongkol Temple

FORWARD

Consultants

MR. VIRAPAN PULGES
MR. TAN JITAPUNKUL

Executive Editor (English)

MS. HATAIKAN DUTTADINTORN
MR. RUAIRIDH WATTERS
MR. THANATDECH SIRIVORANAN

Executive Editor (Japanese)

MR. TAKASHI FUSE

Executive Editor / Art & Design Director

MS. HATAIKAN DUTTADINTORN
MR. THANATDECH SIRIVORANAN

Editorial Staff

MR. THANATDECH SIRIVORANAN

TICON TPARK

Published on Behalf of:

TICON GROUP

175 Sathorn City Tower, 13th Floor,
Suite 1308, South Sathorn Road,
Sathorn, Bangkok
10120 Thailand

Tel: +66 (0) 2679 6565

Fax: +66 (0) 2679 6569

Email: logistics@ticon.co.th

www.ticon.co.th

Follow us on

Twitter@TPARK_Live



Article by Mr. Sanyawit Sethapokin

President, Thai Transportation
and Logistics Association (TTLA)

ONE BELT AND ONE ROAD POLICY (一帯一路構想) と GMS(Greater Mekong Sub-Region=大メコン経済圏) 諸国の物流協力



今回の当コラムでは雲南省昆明市で開かれた「GMS LOGISTICS ENTERPRISES COOPERATION COMMITTEE」(GMS物流企業協力会議)における私のプレゼンの骨子をご紹介します。

今回の会議は大メコン経済圏(GMS)諸国の協力関係構築を目的として開催されました。中国は、自国からラオスを經由してタイ国内、または中国からベトナムとラオスを經由してタイ国内へと至る物流ル―

トにおける障害の除去に期待を寄せています。これはタイを最終目的地にする、或いはタイを中継して近隣諸国またはレムチャバン港に輸送するかは問わず、です。

中国の一帯一路構想は、これまでの戦略とは完全に異なるものであることは否定できません。中国の新政策が強調しているのは積極的な行動です。換言すれば、輸出するに当たって客先(輸入国)が中国にアプローチしてくるのを待つという従来の戦略ではなく、輸出の方向性を転換して、自分の方から輸入国に積極的にアプロー



“The ultimate goal of the 21st-century Silk Road is to expand trade, services, and culture from China to various countries along the route, an essence to uplift the economy of China from the golden age to the diamond era”

Mr. Xi Jinping
the President of China



この構想はGMS諸国に
次のような影響を与えると
考えられます。

1. 中国の資金援助で、GMS諸国における通信インフラへの投資が増大します。
2. 中国は、官民両面でさまざまな手段を通じて他国との関係強化を推進させるでしょう。例えば、国際貿易見本市、文化・教育交流、パートナーシップや合弁会社等による民間の協力促進などです。
3. 貿易および産業開発において、中国は雲南省をGMS諸国に対する門戸と位置付け、将来的には物流・貿易ハブにする計画でしょう。

チする方向に転換したのです。

この21世紀のシルクロード構想の究極の目的は、中国の貿易、サービス、文化をルート沿いの国々に拡大し、習近平国家主席が言うように、中国経済を「金の時代」から「ダイヤモンドの時代」に格上げすることにあります。

中国のGMS地域に対するインフラ投資では、ミャンマーのチャオピュー大型深海港、雲南省向け天然ガス・原油パイプライン、同港に接続する鉄道などの建設プロジェクトなどが含まれます。将来鉄道が完成して街ができれば、その街は中国向けの輸出ハブとなるでしょう。なぜなら、雲南からチャオピューまでの距離は1,880キロであり、これは昆明ーバンコクまたは昆明ーレムチャバン港間の距離に近いからです。



Kyaukphyu port

タイに関して言えば、レムチャバン港からラオスのビエンチャンを経由して昆明に至る鉄道建設に関する協定書が締結され、2022年の完工を予定されています。完成すれば、昆明はタイのレムチャバン港とミャンマーのチャオピュー港の2大港湾を結ぶ要衝となるでしょう。■

Disclaimer: This article was written by third parties. Such article is owned by their authors for publication on the newsletter. TICON group does not warrant, endorse, guarantee or assume responsibility for any third party articles including their accuracy, or the intellectual property rights in or relating to such article. For more information, please contact directly to the author of this article.



Mr. Takashi Fuse
Advisor
TICON Logistics Park Co., Ltd.

日本人の平均寿命が延びた

今号のJAPAN CORNERでは最近私が興味を持った新聞記事をご紹介します。

タイ人旅行者は世界一のスマホ中毒

2016年7月27日の時事通信記事です。2015年の日本人男性の平均寿命は80.79歳(2014年では80.50歳)、女性は87.05歳(同86.93歳)で、世界と比較しますと男性は香港(81.24歳)、アイスランドとスイス(ともに81.0歳)に次いで第4位、女性は香港(87.32歳)に次いで第2位と厚生労働省が発表しました。女性の寿命が87歳を超えたのは初めてとのこと。戦後間もない1947年では男女とも50歳代でした



男女平均



男性



女性

世界順位	国名	平均寿命	世界順位	国名	平均寿命	世界順位	国名	平均寿命
3	シンガポール	83.1	10	シンガポール	80.0	2	シンガポール	86.1
39	ルネイ	77.7	36	ブルネイ	76.3	38	ベトナム	80.7
56	ベトナム	76.0	65	マレーシア	72.7	47	ブルネイ	79.2
67	マレーシア	75.0	74	タイ	71.9	66	タイ	78.0
70	タイ	74.9	81	ベトナム	71.3	83	マレーシア	77.3
120	インドネシア	69.1	112	インドネシア	67.1	117	フィリピン	72.0
123	カンボジア	68.7	116	カンボジア	66.6	119	インドネシア	71.2
124	フィリピン	68.5	126	フィリピン	65.3	123	カンボジア	70.7
129	ミャンマー	66.6	130	ミャンマー	64.6	133	ミャンマー	68.5
137	ラオス	65.7	133	ラオス	64.1	138	ラオス	67.2

ので、70年ほどの間に30歳以上延びたことになります。

それではタイ人の平均寿命はどのくらいでしょうか。世界保健機構（WHO）が今年6月に発表した「世界保健統計2016」によれば、2015年では男女平均74.9歳（世界70位）、男女別では男性71.9歳（同74位）、女性



78.0歳（同66位）です。WHO統計ではアセアン諸国6の平均寿命は次表のようになっています。世界中どこでもそうですが、女性の方が男性よりも長生きで、アセアン諸国も例外ではありません。アセアンでは女性が男性よりも3歳-7歳長生きです。

タイ人の平均寿命は1980年では男女平均で64.18歳でしたが、2015年では74.91歳で、35年間で10歳以上延びました。この背景には所得の増加、食生活の変化、医療の進歩、健康志向の高まりなどが考えられますが、寿命を更に延ばすにはタイ人の更なる食生活の改善が必要のようです。■

砂糖入り飲料が慢性 病の原因

上記の寿命に関連する記事が2016年7月26日のバンコクポスト紙に掲載されていました。7月25日に行われたタイ健康増進基金（Thai Health Promotion Foundation）における記者会見で、ナロン副首相は、タイ人の食習慣は改善しており、アルコール摂取や喫煙の減少と相俟って寿命は延びているものの、多くの国民は依然として過剰な糖分の摂取で肥満と糖尿病のリスクに直面していると語ったと報じています。

**副首相は会見で次のように述べた
とのことです。**

- タイでは男性よりも女性の肥満が増えている。最近の統計ではアジアで肥満女性が最も多いのは中国でタイはそれに次ぐ。日本や香港では肥満は少ない。
- 人口6,800万のうち1,900万人（28%）が体重オーバーであり、770万人が糖尿病などの深刻な病気になるリスクを抱えている。
- 10歳-14歳の子供が口にする飲み物の砂糖の量が増えている。子供に不健康な食事をさせないため、親の役割は重要である。

タイはブラジル、インド、EUに次いで世界第4位の砂糖生産国です。独立行政法人・農畜産業振興機構（Agriculture & Livestock Industries Corporation）の統計では、2009年から昨年までの6年間の年間生産量は1,100万-1,200万トンで、半分以上が輸出されています。それではタイ人はどれほど砂糖を消費しているのでしょうか。2015年における一人当たり消費量が最も多いのはブラジルで60.1kg、タイは48.4kgで世界7位です。タイよりも消費量が多いのはブラジル以外ではキューバ、エルサルバドル、ベルギー、ルクセンブルグ、フランスなどです。タイの48.4kgは甘い菓子やケーキの多いEU諸国や中南米諸国の数字とほぼ同じですが、アジアでは断然トップです。アセアンの一人当たり砂糖消費量はベトナム18.4kg、フィリピン23.1kg、インドネシア24.9kgで、タイよりも遥かに低い数字です。因みに日本は17.2kgでタイの1/3程度しか消費していません。この数字を見る限りでは、ナロン副首相が言うように、タイ人は砂糖を過剰に消費していると言っているでしょう。確かにタイでは菓子やケーキは相当甘いというのが実感です。また、多くのタイ人がコーラなどの砂糖入り清涼飲料を食事時に飲んでいますが、食事時以外でも赤や緑の原色の飲み物を飲んでいました。この飲み物は色を見ただけで健康に悪そうなので私は飲んだことがなく、従ってどの程度甘いのか分かりませませんが、かなりの量の砂糖が入っているのではないかと推測しています。染み付いた食習慣を変えるのは容易ではありません。しかし、余計なお世話と言われるかも知れませんが、副首相の言うように、健康増進と医療費低減のためにタイ人は大人・子供を問わず砂糖摂取量を減らす努力をすべきでしょう。■

ロジャナ・プラチンブリの新工場



2016年最後のFACTORY HIGHLIGHTでは、ロジャナ・プラチンブリ・プロジェクトの新レンタル工場の詳細をご紹介します。

所在地

ロジャナ・プラチンブリ・プロジェクトは、プラチンブリ県の国道304号線上に位置し、自動車やエレクトロニクスを含む各産業に適した戦略的な場所にあり、国内各地への配送に適しています。また、この場所はナコンラチャシマ、バンコク、チャチュンサオ、レムチャバン港、マブタプット深海港、サケオ県アランヤプラテートをつなぐ要衝でもあります。



ロジャナ・プラチンブリ・プロジェクトからの距離

(単位: KM)

目的地	距離
バンコク	135
スワンナプーム国際空港	110
ドンムアン空港	134
マプタプット深海港	150
レムチャバン港	130
ナコンラチャシマ県	170
サケオ県アランプラテート	118

高品質レンタル工場

現在ロジャナ・プラチンブリ・プロジェクトにおけるTICON工場面積は13,600㎡で、建物はTICONの建築基準に基づいて外装・内装を完備しています。

屋外

- 工場は2,000㎡から4,000㎡のサイズを用意。
- 工場前にはセキュリティ小屋。
- 工場はフェンスとグリーンエリアで囲い。

Interior

- 床耐荷重: 3t/㎡
- 天井高さ: 7m
- 事務所面積: 250 – 400㎡
- 工場内に常設トイレあり。
- 金属板を使用したルーバーによる換気システムを設置。
- 工場は300ルクス、事務所は500ルクスの照明器具を設置。



ロジャナ・ラチンブリ・プロジェクトの特徴

特徴

- TICONの賃貸工場は、自動車産業クラスターに指定され、世界クラスの自動車メーカーの生産拠点となっているロジャナ工業団地(プラチンブリ)内に位置しています。
- 国内各地や主要港を結ぶ要衝となっています。
- ASEANの生産拠点となるサケオ県の経済特区と接続しています。
- いつでも入居可能なため、土地購入や工場建設のコストや時間を節約できます。



TPARK経営陣から新

今年最後のWARE-HOUSE SPOTLIGHTでは、TICON LOGISTICS PARK CO., LTD.のウィラバン・プーンゲート代表取締役及びテーン・チタパンクンGMから新年のご挨拶をお届けします。



TICON Logistics Park Co., Ltd.
代表取締役
ウィラバン・プーンゲート

読者の皆様

Forward誌の読者の皆様、TPARKとFraser Property Holdings (Thailand) 間で行われた増資に特徴づけられるように、更なる成長の継続が見られた2016年が終わりに近づきつつあります。Fraser社に対する第三者割当増資は、TPARKの財務基盤を強固にするとともに、特にオーストラリアでの倉庫運営の経験に見られるように、同社の事業用不動産開発の知識や技術がTICONに提供されることとなります。これは、TPARKがアセアンにおいて不動産開発分野でトップの座に着くための成長と前進の強固な基盤になるでしょう。

倉庫事業については、国内市場では引き続きニーズが高く、特に2016年後半は政府部門の投資政策や外国企業によるBOI投資申請の増加がプラス要因となっています。他方、私たちは隣国の潜在力も認識しており、来年はいいニュースをお届けしたいと思います。

最後に、2016年が間もなく終わり新しい年が指呼の間に迫っていますので、読者の皆様に新年のご挨拶を申し上げたいと存じます。来年も健康、金運、家族、事業のすべてにおいて成功されることを、そして来年が幸せでありますようにお祈り申し上げます。

A handwritten signature in black ink, likely of Wilaiwan Pongkiet, the Chairman of TICON Logistics Park Co., Ltd. The signature is stylized and written in Thai script.

年のご挨拶



TICON Logistics Park Co., Ltd.
ゼネラルマネジャー
テーン・チタパンクン

読者の皆様

2016年が間もなく終わろうとしています。2016年はTPARKにとって大きな転機となった年でした。私が言及したいのがFraser Property Holding (Thailand) Co., Ltd.との資本・業務提携です。この提携によりTPARKの財務基盤が強化されますので、戦略的な場所での土地購入や高品質レンタル倉庫開発戦略が実行できると考えています。一等地に最高の物件を用意するという我々の核心となる原則に変更はありませんので、TPARKに対する信頼を引き続きお寄せいただきたく存じます。株主構成が変わっても高品質の顧客サービスは従来と変わりありませんのでご安心ください。

倉庫事業の拡大については、TPARKランブーンとTPARKコンケンに続き、外国での投資機会の可能性も模索していきます。アセアン経済共同体市場に対応して、ベトナム、カンボジア、ミャンマーをターゲットにしています。また、インドネシアにおける追加倉庫の開発も計画しています。

困難な経済情勢ではありましたが、2016年では目標とする入居率を達成することができました。これは偏にTPARKのサービスやスタッフが事業者の皆様によって信頼された結果であると思っています。この機会にTPARKをサポートしていただいているすべての方に感謝の意をお伝えするとともに、新年のご挨拶を申し上げます。来年一年間、皆様が公私に亘って成功されることを願っています。来年も引き続きご支援を賜りたくお願い申し上げます。



Mr. Samart Russameerojwong

Chief Investor Relation
TICON Industrial Connection Plc.

あなたの投資を 防衛する正しい選択 は何か？

今年もあと少しで終わり、新年を迎えるところまで来ました。皆さんはすでにリスクに見合ったリターンの期待できる2017年の投資について検討を始めていることと思います。リスクとリターンの関係についてはおなじみの概念が多々言われていますが、正しいリスクの緩和策と管理の仕方を知れば、リスクは多くの人が恐れるほど怖いものではありません。

一般的にはリスク管理の原則は以下の2点です。

■ 最低でも2種類以上に投資を分散させることです。投資先が1種類だけの場合、それが損失を出しますと、投資家は多大な、場合によってはすべての資金を失うことになってしまいますが、分散投資によりそのリスクを軽減することが可能です。

■ 短期投資は価格変動リスクを伴いますので、リスクを軽減するため長期投資を行います。例えば、証券や金などです。

投資家はリスクを軽減するのに足る一定の期間に亘って分散投資をするべきです。仮に2006年から2015年の10年間に証券市場に投資していた場合、年平均で9.2%、

年	タイ株式 SET50 Total Return Index	金 (96.5%の純 金購入価格)	タイ投資適格 社債(BBB以 上)	タイインフレ率 (CPI)
2006年	-1.1%	7.5%	6.6%	4.5%
2550年	38.8%	22.8%	7.4%	4.7%
2551年	-47.6%	5.3%	8.0%	2.2%
2552年	72.1%	24.8%	4.1%	5.5%
2553年	44.7%	15.3%	5.3%	-0.9%
2554年	3.7%	17.0%	4.0%	3.2%
2555年	35.9%	3.0%	4.6%	3.8%
2556年	-3.5%	-22.6%	3.9%	3.0%
2557年	17.0%	-0.3%	6.6%	2.2%
2558年	-16.0%	-2.4%	4.9%	1.9%
2016年11月18日*	7.4%	11.0%	2.9%	0.3%
2006~2015年 の年平均*	9.2%	5.4%	4.8%	2.5%

出所 (1)タイ証券取引所 (2)タイ中央銀行 (3)タイ債券市場協会 (4)ゴールド取引協会

備考 (1) 年間平均成長率は複合年間平均成長率(Compound annual growth rate)の計算方法を用いた。
(2) 同期間における成長率は対前年比(year on year)の計算方法を用いた。
(3) 2016年のCPI(消費者物価指数)は10月末現在の数字を用いた。

インフレ率を控除しても年6.7%の投資収益率を享受できたことになります。

同じ期間に金に投資していた場合、年平均で5.4%、インフレ率を控除すれば2.9%の投資収益率となります。このインフレ率を控除した投資収益率が実質的な投資リターンを計算する方法です。

証券や金よりもリスクや投資収益率は低いが、銀行預金よりも投資収益率の高い投資として、民間企業の発行する格付けがBBB以上の投資適格社債があります。前述の期間におけるこの場合の投資収益率は年平均で4.8%、インフレ率控除後で2.3%となります。

上記の表では、2016年11月18日時点における、過去12ヶ月間の金への投資による月間投資収益率は11%で、証券(7.4%)、社債(2.9%)より高い投資収益率(11.0%)となっていますが、長期投資の観点から見た場合、過去10年において証券投資が金よりも高収益となっています。このため、投資家は金だけではなく、他の投資先も検討すべきでしょう。短期間で高収益を誇る投資先があったとしても、それが他の投資先より優先すべきということにはなりません。なぜなら、長期投資による投資収益率が明確な結果として出ているからです。投資家は、短期的に高収益であったり、他と比べて価格の安い投資先を選ぶのではなく、自身が許容できるリスクを見極めて投資先を選ぶべきでしょう。

「投資にはリスクが付きものです。投資を決定する前にきちんと情報を精査しましょう」



TICONグループ、アナリスト・ミーティングを開催

TICON Industrial Connection Public Company Limitedのウィラバン・ブーンケート代表取締役(左)とサマート・ラサミーロートウォン投資部長はこのほど、アナリスト・ミーティングを開催し、2016年1月～9月の純利益が2億7,000万バーツ(昨年同期は2,285万バーツの赤字)であったことを報告しました。

また、TICONグループは2016年末までに完了予定の増資を進めています。Fraser Property Holding (Thailand) Co., Ltd.との資本提携による今回の増資は、国内およびASEAN域内におけるTICONグループの成長を後押しし、域内の産業用不動産市場でトップの地位を確保することを可能ならしめると信じています。■

TPARK、物流倉庫団地と倉庫業の将来について講演



タイ最大手の高品質レンタル倉庫供給会社であるTICON Logistics Park Co., Ltd. (TPARK)のゼネラル・マネジャー、テーン・チタパンクン氏は、「物流及び在庫コスト低減、事業者のゴールデンチャンス」と題するセミナーにおいて「物流倉庫団地および倉庫の開発トレンド」について講演しました。

同セミナーは、トランスポートジャーナル紙とトゥラキット・バンディット大学技術革新・エンジニアリング・カレッジの共催で行われました。テーンGMは、物流事業者や同大学ロジスティクス学科の学生など約150人の参加者を前に、物流倉庫団地のコンセプトや倉庫事業の今後の成長傾向について講演を行いました。■

THIS ISSUE OF PROPERTY HIGHLIGHT CONTINUES TO PRESENT DYNAMIC PROJECTS IN STRATEGIC LOCATIONS FOR OUR READERS.

今年最後のProperty Highlightでは、アジア工業団地（スワンナプーム）内のTICONの高品質レンタル工場をご紹介します。同工業団地は自動車産業やエレクトロニクス産業の製造基地に近いサムットプラカン県の戦略的な場所に位置しています。この団地はバンコクにもっとも近い団地のひとつで、周辺にはスワンナプーム国際空港、ラカバン内陸コンテナデポ（ICD）、多数の東部地域の工業団地が位置しています。当社のプロジェクトは様々なニーズに対応できるように多様なサイズの工場を用意していますので、いろいろな産業に適しています。

利用可能な物件

所在地: アジア工業団地(スワンナプーム)

工場面積: 550 – 4,200㎡
床耐荷重: 2t/㎡
天井高さ: 7m



TICON

詳細問合せ、工場見学のご連絡は下記まで。

Tel: +66 (0) 2679 6565

Email: marketing@ticon.co.th または info@ticon.co.th (日本語)

利用可能な物件はここ
でチェック!



TPARK

詳細問合せ、工場見学のご連絡は下記まで。

Tel: +66 (0) 2679 6565

Email: marketing@ticon.co.th または info@ticon.co.th (日本語)

利用可能な物件はここ
でチェック!



今年最後にご紹介する即入居可能なレンタル倉庫は、TPARKランブーンです。北部初の同プロジェクトは、チェンマイ市、チェンマイ空港、近隣県へのアクセスが便利なランブーンのノーザン工業団地やサハパット工業団地に近いという一等地を占めており、この地域の他県（チェンライ、ランパン、ターク、メーホンソン）への物流や配送に適した立地となっています。このため、卸売、小売、消費財、物流、建築資材などの事業者に適しています。

利用可能な物件

所在地: 国道11号線をランパン県に向かい、KM マーク540+500地点の右側に立地（一般区）。

倉庫面積: 840㎡/ユニット
床耐荷重: 2t/㎡
天井高さ: 8m



TICON



ATA Casting Technology Co., Ltd.

ATA Casting Technology株式会社は乗用車用のステアリング部品の鋳造・加工を行う日本企業で、製品は自動車会社に納入されています。同社はこのほど、製造工程強化のため、アマタナコン工業団地内のTICON工場(面積:2,850㎡)を賃借しました。



Thai Sanko Co., Ltd.

株式会社サンコーは自動車部品と家電部品を製造する日本企業で、製品は有名自動車会社、家電会社に納入されています。同社はこのほど、製造目的のため、また拡張のためにロジャナユタヤ工業団地内のTICON工場(面積:2,275㎡)を賃借しました。

TPARK



CJ Korea Express (Thailand) Co., Ltd.

CJ Korea Express (Thailand) 株式会社は韓国の物流サービス会社で、一般貨物輸送、倉庫などの物流活動をしています。同社は最近、物流事業に使用する目的で、TPARKバンプリ3内の倉庫(面積3,924㎡)を賃借しました。



ALPS Logistics (Thailand) Co., Ltd.

日本の物流サービス供給会社であるアルプス・ロジスティクス(タイランド)株式会社は、輸送・倉庫・運送・マネージメントなどの物流サービスを顧客に提供しています。同社はこのほど、業務拡張のため、TPARKバンナの倉庫(面積:2,450㎡)を追加賃借しました。



NK-Axis Packaging Co., Ltd.

NK-Axis Packaging株式会社は紙製のパレットおよび包装材を製造する日本企業です。同社は最近、製品貯蔵のため、TPARKバントン1の倉庫(面積:2,450㎡)を賃借しました。



Yamato-Shiki (Thailand) Co., Ltd.

大和紙器(タイランド)株式会社はさまざまな産業で使用する紙製包装資材を製造する日本企業です。同社はこのほど、製品貯蔵のため、TPARKバンナ内の倉庫(面積:1,250㎡)を賃借しました。

リーン生産方式導入による物流コスト低減戦略

物流コストは、調達、倉庫管理、保管、運搬、配送を含むあらゆる事業活動や産業に隠れている重要な要素です。このため、コスト削減、特に物流コストの低減では、物流管理技術及び戦略が重要となってきます。

リーン・マネジメントとは、生産工程において付加価値を生まない活動を排除することによって製品をタイムリーに顧客に納入するため、生産工程におけるムダを最少化する考え方です。最大のムダの要因は時間のかかる生産方式であり、効率的な時間の使い方が改善のツールとなります。

リーン・マネジメントによる物流コスト低減は、物流事業で使用され同時にコストでもある従業員（ヒト）、商品在庫、情報、通信などといった資源のフローに焦点を当て、全体のリードタイムやコストを低減させる物流プロセス管理を意味します。重要なことは、企業が、顧客第一、ビジネスチャンスの把握、効率的な作業フロー、高められた物流能力、規律などに基づいた物流資源マネジメント哲学を備えていることです。



物流コスト低減における効果的なツール

三つのム (ムリ、ムダ、ムラ)

三つのムは日本語です。ムダは無駄(Waste)、ムラは一貫性のないこと、ムリはするべきでないことをすることです。この三つは成功を妨げる要素であり、これをなくすることができれば時間のかかる作業を削減でき、リーン生産方式につながる付加価値を生む作業に時間を振り向けることができます。

バリューストリーム・マッピング

バリューストリーム・マッピングは、リーン生産方式の効果達成をサポートするツールのひとつで、生産工程全体における作業フローの改善を分析するのに用います。これにより、付加価値を生まないムダや活動を排除し、顧客の求めるタイミングでの納品を可能にします。

ジャストインタイム

統合的品質管理 (トータルクオリティコントロール)

高付加価値化

カイゼン

標準化

ペーパーレス化またはシングルウィンドウ化

詳細は
http://www.v-servelogistics.com/media/vserve/training_kmview.php?id=1





ホンダ・ロジスティクス・アジア株式会社

ホンダの子会社であるホンダ・ロジスティクス・アジア社は陸上・海上・航空輸送と物流サービスを提供する会社で、世界中の顧客にトラック輸送、梱包、保管等のサービスを提供する最大手の一社です。同社は倉庫事業と物流事業分野における主要企業であり、世界中の顧客に対してサービス提供を行っています。



“Our established and experienced team’s skills are well respected by many clients and industries. You can expect a professional, reliable, fast and first class service.”

日本に本社を置く同社は、世界中に多くの姉妹会社を有する、国際的で且つ多くの方々に認識されている株式会社ホンダ・ロジスティクス (HLI) 傘下の一社ですが、ホンダ・グループのみにサービスを提供している訳ではありません。ホンダ・グループ以外の企業も、同社の優れたチームや高い専門性、更には物流、倉庫マネジメント、研修、梱包設計、品質保証などを含む各種サービスを受けることが可能です。経験と専門性を有する同社の熟練スタッフの技量は多くの顧客企業から高い評価を得ています。プロとしての仕事に徹し、信頼性、迅速さ、最高水準のサービス等、全ての面で顧客の期待を裏切ることはありません。



株式会社ホンダ・ロジスティクスはホンダ・エクスプレスと光明社が合併して、2006年10月に現在の社名になりました。元の会社は1960年に設立され、東京をベースに事業を展開してきました。

当社はこのほど、親会社に対する物流サービス提供のため、TPARK ロジャナ・プラチンプリ内の倉庫 (面積: 14,400㎡) を賃借しました。■



Take a Break



読者の皆様が新年の計画を建てられるに当たって、幸運を呼ぶ場所をお奨めて2016年のTake a Breakを終わりたいと思います。その場所とは「ワットヤイチャイモンコン寺」で、このお寺はアユタヤの歴史遺跡であり、タイの重要な遺産でもあります。TPARKワンノイ1および2の近くにあります。

ワットヤイチャイモンコン寺は仏暦1900年(西暦1357年)、アユタヤ王朝のウートン王により僧侶の住居として建立されましたが、ナレスワン大王の時代に大規模な修復が行われ、現在ではタイ人や外国人にとって人気のある観光地となっています。同寺院最大の目玉であるチェディ・チャイモンコンは、アユタヤ王国



が戦争に勝利したことを記念して建立されたもので、観光客はチェディの上まで登り、周辺の景色と歴史的建造物を楽しむことができます。

もうひとつの目玉は、入口を入って左側にある寝釈迦仏で、多くの観光客が立ち寄ってお祈りしていま

す。また、寺院の裏側はナレスワン大王の宮殿となっています。寺院内には美しい公園が点在していますので、景観を楽しみながら休憩することができます。ワットヤイチャイモンコン寺は期待を裏切らない文化的観光名所ですので、TPARKワンノイ1近くにいられた方は是非とも立ち寄ってみてください。■

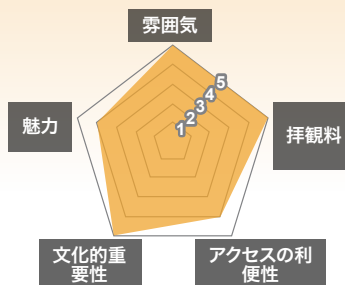
Wat Yai Chai Mongkol Temple

拝観時間: 8時30分～16時30分

拝観料: タイ人無料、外国人20バーツ

アクセス: TPARKワンノイ1および2からアジアハイウェイ(国道32号線)に入り、アユタヤ市内に向かう交差点を左折して直進。チェディ・ワットサムブルム環状交差点を左折して1.5キロ進んだ左側。

住所: アユタヤ県アユタヤ市クローンズワンプルー町



LEADING PROVIDER OF QUALITY FACTORIES IN INDUSTRIAL ESTATES IN THAILAND



18

PROJECTS ACROSS
THE COUNTRY

**READY BUILT
FACTORIES FOR RENT**



Contact us:
Tel: +66 (0) 2679 6565
Email: marketing@ticon.co.th
info@ticon.co.th (japanese)
www.ticon.co.th

TICON Industrial Connection Public Company Limited
13th Floor, Sathorn City Tower, 175 South Sathorn Road,
Bangkok, 10120 Thailand